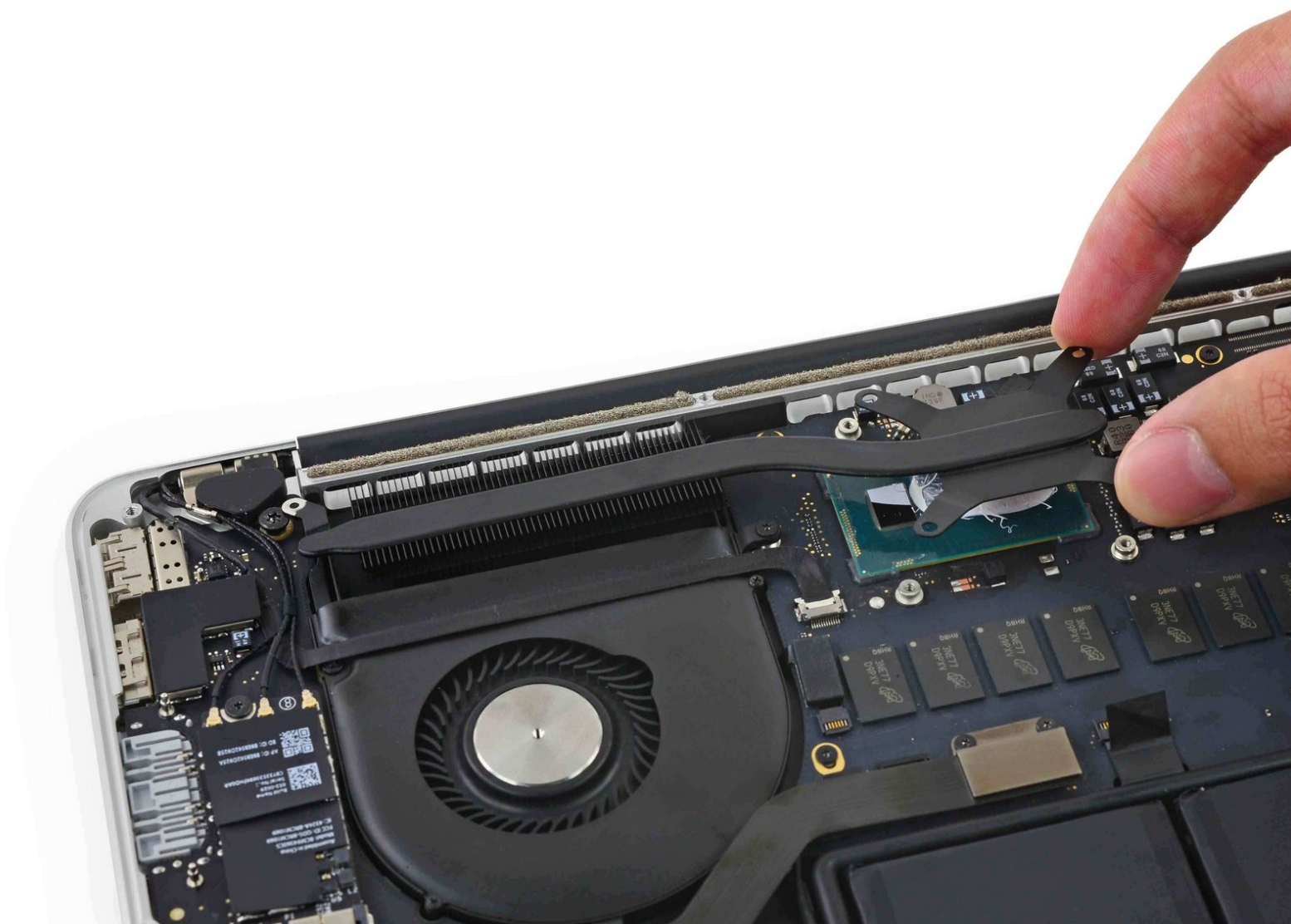




MacBook Pro 13" Retina Display Mid 2014 の ヒートシンクの交換

MacBook Pro 13" Retina Display Mid 2014 のヒートシンクの交換をします。

作成者: Sam Goldheart



はじめに

ヒートシンクを交換するにはこの手順をご覧ください。

ヒートシンクを取り出した後、[放熱グリスの装着ガイド](#)を参照してください。



ツール:

- P5 ペンタローブネジ用ドライバー (Retina MacBook Pro/Air用) (1)
- スパッジャー (1)
- Arctic Silver ArctiClean (1)
- Arctic Silver 放熱グリス (1)
- #000 プラスドライバー (1)
- T5トルクスドライバー (1)



部品:

- MacBook Pro 13" Retina (Late 2013/Early 2015) Heat Sink (1)

手順 1 — 底ケース



- 上部ケースと底ケースを留めている次の10本のネジを外します。
 - 2.3 mm P5ペンタローブネジ–2本
 - 3.0 mm P5ペンタローブネジ–8本
- この修理では、[各ネジの装着位置をメモ書きして管理](#)してください。再組み立ての際は、デバイスにダメージを与えないよう、正しい場所に装着してください。

手順 2



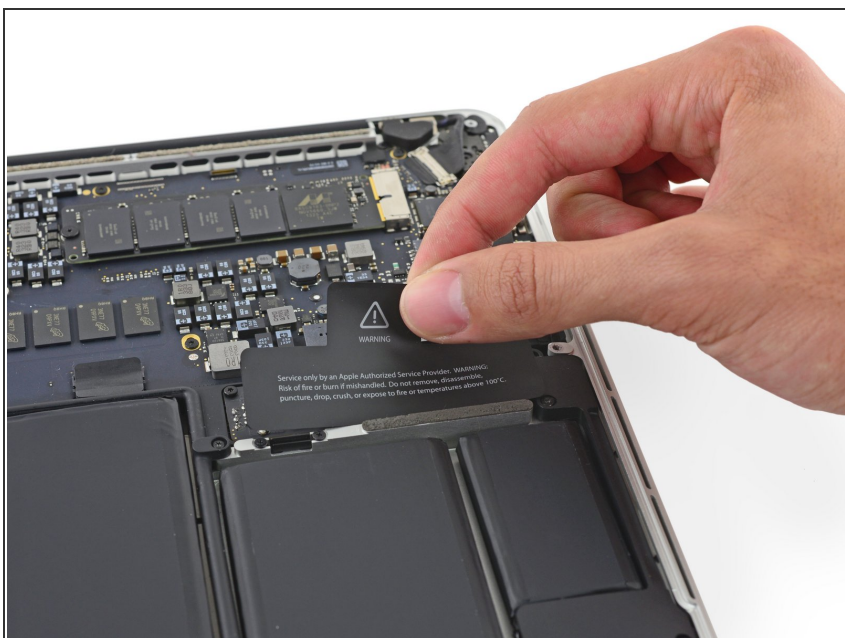
- 上部ケースと底ケースの間に指を差し込みます。
- ゆっくりと底ケースを上部ケースから離していきます。

手順 3



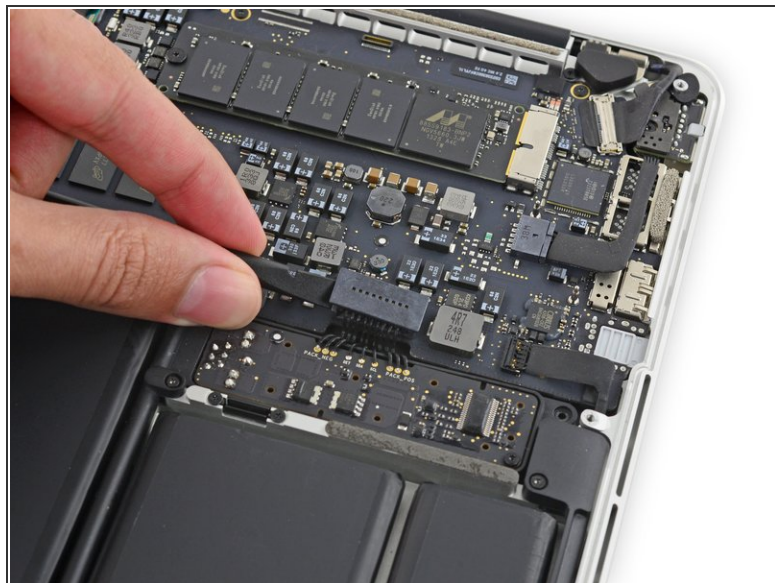
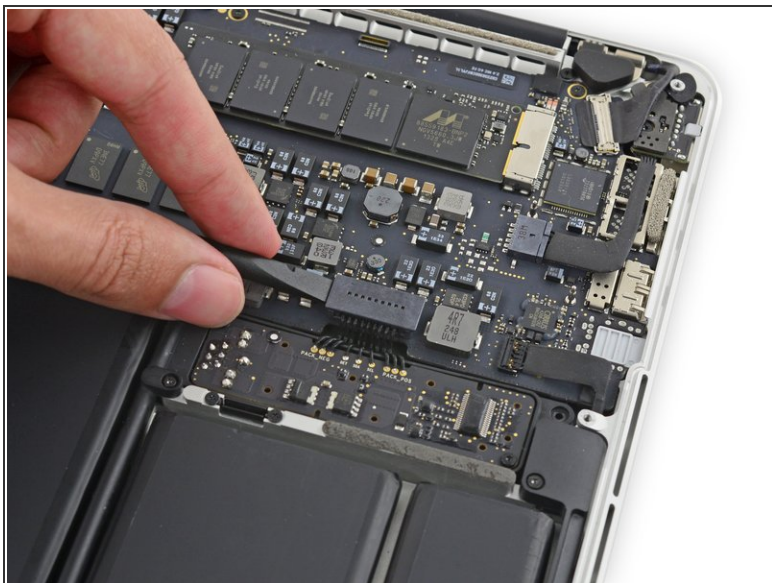
- ❗ 底ケースは上部ケースと2つのプラスチック製クリップで中央付近に接続されています。
- 👉 再組み立ての際は、丁寧に底ケースの中央を2つのプラスチック製クリップに接続するように押し込んでください。

手順 4 — バッテリーコネクター



- ❗ 必要に応じてバッテリーの接続ボードに留められているプラスチック製カバーを外してください。

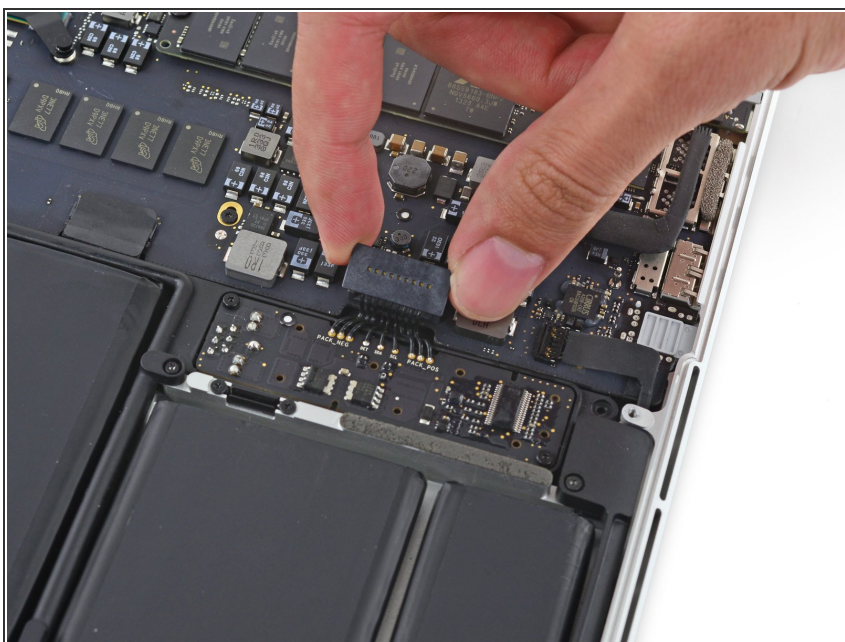
手順 5



- スパジャの平面側先端を使って、バッテリーコネクタをロジックボード上のソケットからまっすぐ持ち上げます。

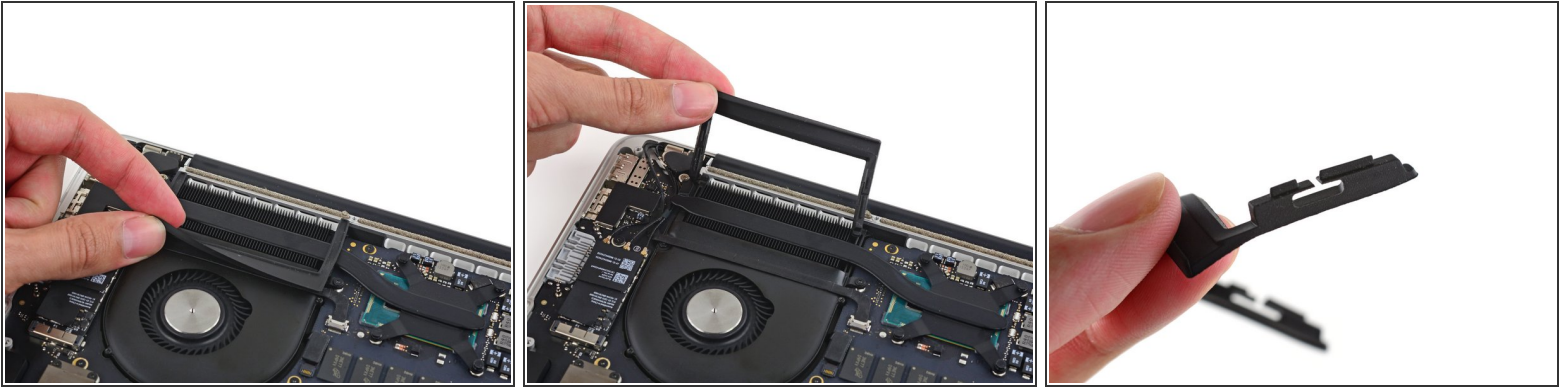
⚠ コネクタのみ持ち上げるよう確認しながら作業を進めてください。ソケットには接触しないでください。ロジックボードに永久的なダメージを与えてしまうことがあります。

手順 6



- ★ 修理作業中、アクシデントによりソケットがバッテリーコネクタに接続しないよう、折り曲げて邪魔にならない位置に移動させてください。

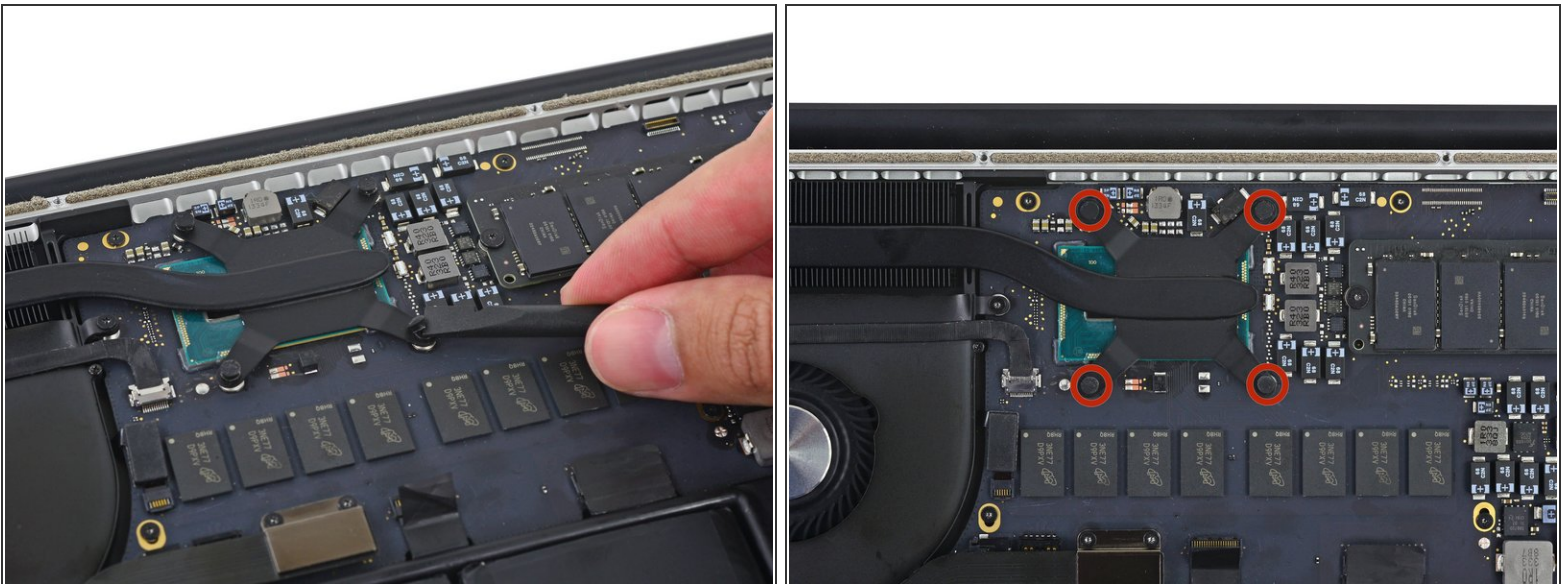
手順 7 — ヒートシンク



- ヒートシンクの端からゴム製のファン用バンパーを丁寧に取り出します。

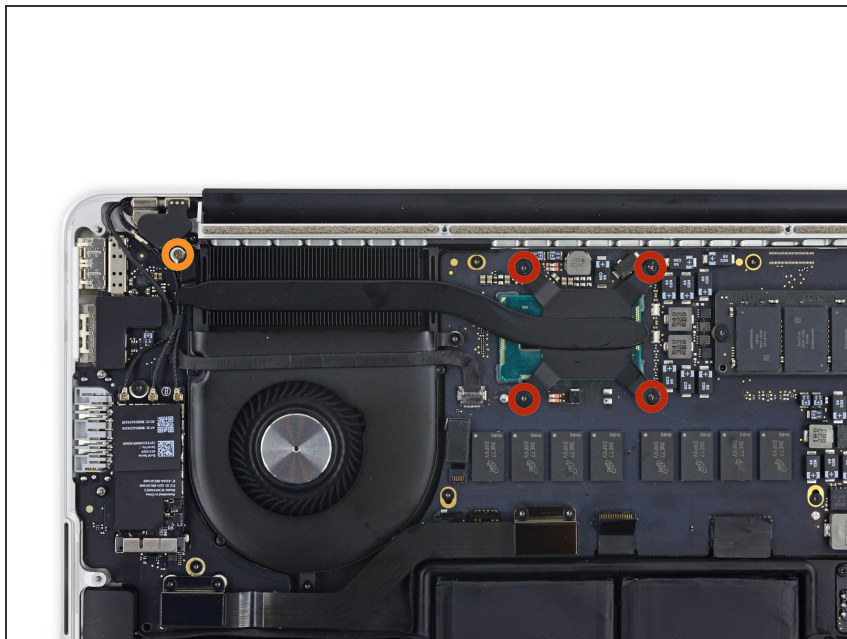
☑ ファン用バンパーはヒートシンクの周りに巻かれており、ファンダクトの溝に装着されています。再組み立ての際は、ファンダクトの切り込みにタブが正確に装着されているか確認してください。

手順 8



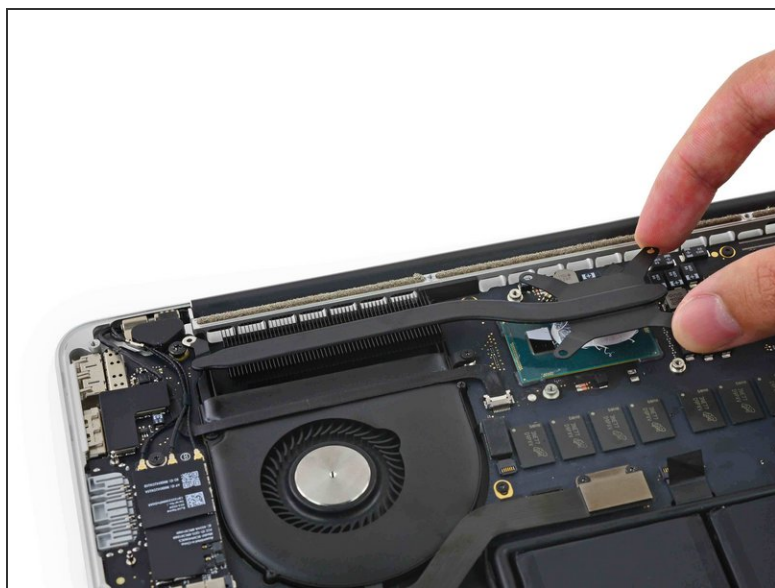
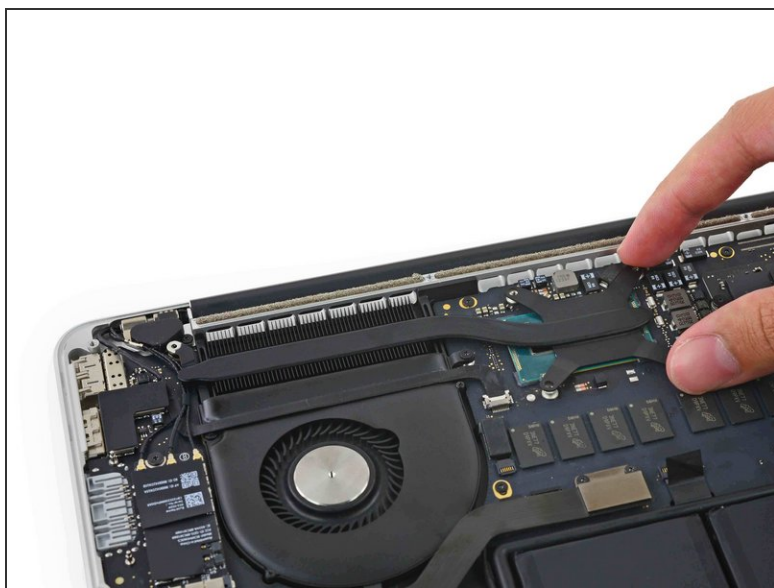
- スパジヤーの平面側先端を使って、ヒートシンクネジから4つのフォーム製のステッカーを剥がします。

手順 9



- ロジックボードに留められたヒートシンクから次の4つのネジを取り出します。
 - 2.6 mm T5トルクスネジ4本
 - 2.4 mm #000 プラスネジ1本

手順 10



- ラップトップからヒートシンクを取り出します。

☒ コンピューターを再組み立てする際は、[放熱グリスの装着手順](#)に従って、放熱グリスを付けてください。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。